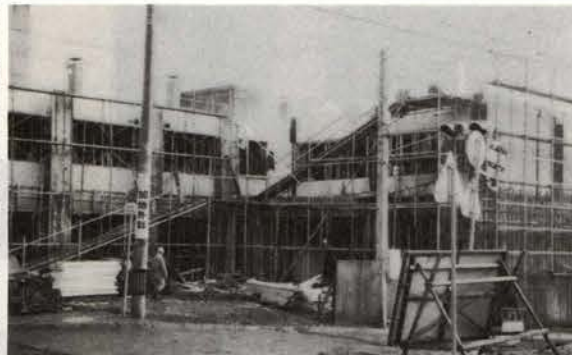




↑ 合同庁舎は来年7月ごろの完成予定

大町にある測候所の裏には、国の手によって総工費3億6,900万円を“留萌地方合同庁舎”の建設は、来年7月完成を目標に進められています。なお、この合同庁舎には、測候所、職業安定所労働基準監督署、法務局、植物防疫所が入居することになっています。



↑ 消費者のための消費生活センター

老朽化が激しく、ことし3月に廃館となった労働会館のあとには、現在“留萌地域消費生活センター”が建設されています。

このセンターは、より賢い消費者の育成と市民に正しい消費知識の高揚を図るための施設で、総工費1億7,500万円を投入して、来年2月ごろの完成予定です。



← 422メートルの護岸に着手

“留萌川護岸工事”は、ことしも開発建設部の手で約3億円を投入して、堀川町側の護岸に着手しています。

ことし護岸されるのは422メートルで、これで1,379メートルが護岸されます。



↑ 副港には新しい橋“港栄橋”

昨年から二カ年計画で副港に新しい橋“港栄橋”が建設されています。この橋は、延長六五・二メートル、幅十三・五メートル（両側歩道を含む）で、十二月中旬には完成予定となっています。なおこの、橋が完成すると、タンクローリーなどの大型車も利用するとあって、市内のメイン道である国道三三三号線の交通緩和にも大きく役立つことになると見られます。



← ことしは浜中・瀬越会館を新築

地域住民のコミュニティーの場として、ことしは、約3,164万円を投入して、瀬越会館と浜中会館の新築、花園会館の増築を行ないました。

なお、昨年は礼受会館の増築にも着手しました。



↑ ことしは2棟完成の大町改良住宅

ことしから4カ年計画で総事業費約18億9,000万円を投入して進められている“大町改良住宅”は、ことしの分4階建3DK 2棟48戸を建設し、年内には入居できる予定です。

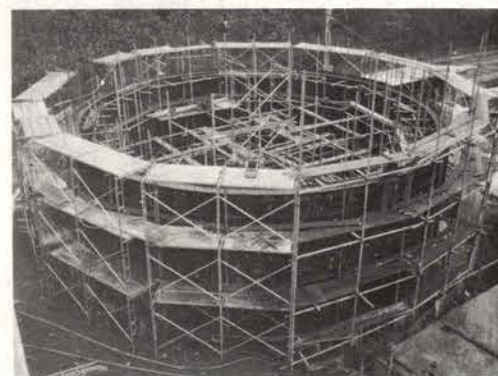
来年度以降は、引き続き4階建3DK 2棟48戸と老人世帯などのために2階建1DK 1棟12戸を建設し、56年には、4階建3DK 4棟72戸を建設することになっています。

また、道営住宅の建設も昨年に引き続き、沖見町6丁目に4階建3DK 1棟24戸が建設されています。

ことしの施設づくりから……

着々と進むまちづくり

↓ 衛生センターは40トンの処理槽を増設



昨年五月から本格的に稼働している“留萌市外二町衛生センター”は、ことし一億七千七百二十七万円を投入して、四十トンの処理施設および曝気槽一基、除鉄

装置、脱臭設備の増設に着手しています。この工事が完了すると、来年からは一日八十トン、現在四十トンのし尿を処理することができま

■本格的な冬を前に、ことしの施設づくりも急ピッチで行なわれています。ことしから四カ年計画で着手された“大町改良住宅”、また、労働会館のあとには消費者のための“留萌消費生活センター”を、衛生センターには四十トンの処理施設が増設されます。■国や道による事業としては、市内二番目の合同庁舎である“留萌地方合同庁舎”の建設と、副港には、新しい橋“港栄橋”の取り付け作業が行なわれています。